

1. 教育事業報告

(1) 教育目標と具体的方策

新型コロナウイルス感染予防を行いつつも、徐々に日常の教育活動が戻ってきた1年であった。授業は対面となり、リモートは自宅待機の学生の為の学習ツールとなった。行事は感染対策に留意した新たな形で実施出来たため、学生同士のコミュニケーションも取りやすくなったのではないかと思う。一方、世間の行動制限緩和ムードに対して、臨床現場の感染予防対策は依然厳しいままであり、臨床実習の受け入れ確保に大変苦勞した。しかし、本校登録の実習施設様のご協力とご支援により、何とか全員が臨床を経験することができた。

(2) 国家試験対策

《令和4年度国家試験合格率》

学科名	総数				新卒			既卒		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
理学	42	38	90.5	87.4	35	31	88.6	7	7	100
作業	19	15	89.5	83.5	15	15	100	4	2	50.0

令和4年度もコロナ感染の影響もあり、オンライン対応となることも一部あったが、基本的に対面対応を実施している。例年通り、国試塾の導入（オンライン対応）や模擬試験、国家試験対策授業を計画的に組み込んだ。個人学習やグループ学習の方法については、徹底的に過去問を反復して解説を作って、アウトプットするように指導した。1月以降は成績不振者には別グループにて対応するようにして、学習の到達状況に合わせて指導している。既卒者に対しては既卒者プログラムを実施し、前期から定期的に対面にて参加させ、後期からは在校生と一緒に対策講義に参加させた。新卒の合格率はPTで88.6%、OTで100%となり作業療法学科は全国平均を上回る成績となった。今年度の国家試験の内容として、不適切問題があったが、例年に比べ難易度は低かった印象である。不合格となった学生の特徴として、1年次より学業不振であり、卒業試験でも低いレベルであった。今後の対応として、1年前期より、毎週学習方法を学ぶための補習を実施することが重要と考え、今年度より実施している。

(3) 実施した行事

4月5日（火）	入学式（新入生・保護者のみ）
4月9日（土）	実習指導者会議（オンライン）
4月10日（日）	実習指導者研修会（オンライン）
4月23日（土）	医技専さるく博
7月25日（月）～8月5日（金）	1・2年生前期定期試験
8月16日～23日	2年生 解剖学内演習
9月10日（土）	総合選抜型入試
9月15日（木）・16日（金）	長崎県専修学校スポーツ交流大会
10月初旬随時	就職説明会
10月15日（土）	指定校・推薦試験入試
10月29日（土）	イギセンピック
11月27日（日）	一般・社会人Ⅰ期入試
12月12日（月）～17日（土）	2年生 後期定期試験
令和5年1月23日（月）～2月4日（土）	1年生 後期定期試験
2月5日（日）	一般・社会人Ⅱ期入試

3月3日（金）	卒業式
3月13日（月）	一般・社会人Ⅲ期入試

その他：スクールカウンセリングルーム（毎週1回）

（4）学生募集活動（広報活動）

- ① 募集状況：理学療法学科 46名（対前年比117.9%）作業療法学科 32人（対前年比133.3%）
ここ8年で最大の入学者数となった。ただし例年同様、作業療法学科の希望者が少なく作業療法を知ってもらうための方策を検討中である。
- ② オープンキャンパス及び出張学校説明会：年間13回開催（全て対面開催）。
受験対象者の参加者数は113人。
- ③ テレビ広告：オープンキャンパスのアンケートでは、本校を知ったきっかけの中で多かったのがHPとテレビCMであった。
- ⑤ HP更新：行事や特徴的な授業を取材しHPのブログにアップすることで医技専を紹介。HPを観てからのオープンキャンパス参加者が多いことから高い効果があったと思われる。TVで放送された映像もHPに転載している。
- ⑦ 進路ガイダンス・説明会への参加：52会場に参加。
- ⑧ 高校訪問：長崎県内全域の高等学校を訪問。訪問回数は延べ200校を訪問。対前年比100%。
- ⑨ 学校見学の受入れ：4校（長崎総合科学大学附属高校、長崎明誠高校、諫早東高校、長崎鶴洋高校）
- ⑩ 学生専用アパート：15名の入居があった。
県央地区の学生が増加。医技専の良さが進路指導教員に浸透してきた。

2. 施設整備

- （1）防犯カメラの設置
- （2）学生用駐輪場、敷地内交通看板の設置
- （3）学生がi-padから印刷できるプリンターの設置

3. その他

- （1）職業実践専門課程評価委員会の実施.
- （2）教員評価の実施